

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	公民	科目：	公共	単位数：	2	指導学年：	2
使用教科書	新版 公共（数研出版）		副教材	最新図説 公共（浜島書店）			

年間指導目標：

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準					配当 時数	
				a	b	c	d	e		
1 学期	中間 考査	第2章公共的な空間における 人間としてのあり方生き方 第2節現代の諸課題と倫理	(知)	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。	○	○	○	○		12
			(思)	・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。	○	○	○		○	
			(態)	・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。		○		○	○	
1 学期	期末 考査	第1章公共的な空間をつくる 私たち 第1節青年期と自己形成 第2節人間としての自覚 第3節日本人としての自覚 第2章公共的な空間における 人間としてのあり方生き方 第1節西洋近現代の思想	(知)	・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 ・古代・中世・近世・近代の思想家の思想内容や三大宗教の内容が理解できている。	○	○	○	○		12
			(思)	・自己形成の課題について考察できている。 ・先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。	○	○	○		○	
			(態)	・よりよく生きることについての自覚を深められている。 ・社会の一員としての自覚を深め、自分の生き方を選択し、自己実現が目指せている。		○		○	○	

2 学 期	中 間 考 査	第3章公共的な空間における 基本原理 第1節民主社会の基本原則 第2節日本社会の基本原則	(知)	・民主政治のあゆみが理解できている。 ・日本国憲法の三大原理や第9条の内容が理解できている。 ・日本国憲法にみられる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できている。	○	○	○	○		16
		第4章現代の民主政治と政治 参加の意義 第1節日本の政治機構	(思)	・民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。 ・日本国憲法で保障されている権利がどのように適用されているのかを調べ、公共の利益との調和について考察できている。	○	○	○		○	
			(態)	・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。		○		○	○	
2 学 期	期 末 考 査	第4章現代の民主政治と政治 参加の意義 第1節日本の政治機構 第2節政治参加と民主政治の 課題	(知)	・行政機能が拡大している現状を理解できている。 ・選挙のしくみが理解できている。 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・金融・財政のしくみを理解している。	○	○	○	○		16
		第5章現代の経済社会と経済 活動のあり方 第1節経済のしくみと市場機 構 第2節財政と金融	(思)	・日本の政治について課題を発見し、解決する見通しがもてている。 ・需給曲線を使って、価格変動について考察できている。景気の先行きが判断でき、自ら経済の動向を予測できている。	○	○	○		○	
			(態)	政治に関心を持ち、積極的に参画する自覚をもつことができている。 ・市場機構だけでは解決できない経済的課題を指摘でき自らの生活と結び付けて経済と接することができる。		○		○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	第6章国際社会の動向と日本 の役割 第1節国際政治の動向 第3節国際経済の動向と国際 協力	(知)	・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ・戦後の国際経済の流れが理解できている。	○	○				22
			(思)	・国際政治の現状と課題について考察できている。 ・円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察できている。	○	○		○	○	
			(態)	・国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか、自ら意見がもて他者と意見の交流ができている。 ・グローバル化した国際経済について自分なりの課題や展望がもてている。		○		○	○	
									合計	78